

総合計画審議会グループ討議における

まちづくりに対する意見書

(平成21年7月9日開催 第7回審議会)

芦別市総合計画審議会

芦別市長 林 政 志 様

平成21年7月9日開催の第7回芦別市総合計画審議会において、本市のまちづくりに関するグループ討議を行いました。

討議では、特定のテーマを設けず、各委員が一市民として、まちづくり全般に対し、日ごろ感じていることや改善すべきこと、また、今後、必要と思われる取組について、自由に発言・提案していただきました。

本意見書は、それらをわかりやすい表現を用い、分野別にまとめたものであり、市民からの率直な声として受け止めていただき、今後のまちづくりに生かしていただくよう期待します。

平成21年7月

芦別市総合計画審議会

1 「自治体運営」に関する意見等

(1) 参加と協働について

No.	分類	意見内容
1	情報提供の方法	<p>芦別市は、情報発信力が弱いと感じられる面があるため、情報発信に工夫することが望まれます。</p> <p>また、良い情報だけではなく、芦別市にとって都合の悪い情報も隠すことなく発信するとともに、全道・全国規模での情報発信への努力が必要と思われます。</p>
2	情報提供の方法	<p>これからは、インターネットの時代であり、インターネットを活用し、全国に向けた情報発信のあり方を構築することが望まれます。</p> <p>一方で、高齢者が情報を収集する手段は、新聞や情報誌が中心となることから、インターネットなどの情報通信基盤の整備だけではなく、パソコンなどの機器を使用できないお年寄りにも配慮した情報伝達の手段を講じることが望まれます。</p>
3	情報提供の方法	<p>芦別市のホームページについて、情報発信力を高めるため、リニューアルするなど多くの人の興味を引くような改善が望まれます。</p>
4	情報提供の方法	<p>「議会だより」では、議会運営や本会議でのやりとりが分かりやすく掲載されていたので、議会情報を得るうえで廃止されたのは残念であります。</p> <p>現在の議会情報は広報あしべつに掲載されていますが、掲載時期が遅いので改善が望まれます。</p>
5	情報提供の方法	<p>説明会などが結果報告だけの場になっていたり、意見に対する回答がないとせっきくの総合計画であっても市民が関心を持たなくなってしまうことから、市民から提案された意見が計画に反映されているか確認できる手段を確立し、しっかりとした情報共有の手段を講じることが望まれます。</p> <p>また、市民に対する情報周知は、町内会単位による説明会を開催するなど、きめ細かく行うことが望まれます。</p>
6	計画づくりの手順	<p>行政で作った総合計画の素案に対しては意見が出しづらいため、商工会議所や福祉団体などとの懇談会を開催するなど、実際に現場に携わっている民間のかたの意見を聴き、素案づくりの段階で市民が加わることにより、市民との協働が果たされるものと思われます。</p>
7	意見に対する対応	<p>市民から出された意見については、できる限り反映するとともに、出された意見に対して回答期限を付して回答することを繰り返し実施することにより、市民参加と協働のまちづくりが実現できるものと思われます。</p>

8	審議会など	<p>審議会の進め方は、もっと時間をかけて細かく重点的に分野別の審議を進めることや、意見を出しやすくするため、小グループに分けて議論するなどの工夫が望まれます。</p> <p>また、審議会の委員については、各分野の専門のかたを加えたり、委員公募の方法の工夫により、もっと若い人たちが参加すると思われれます。</p>
9	審議会など	<p>審議会委員など、もっと若い人を委員として増やすべきと思われれます。</p>
10	協働	<p>これからの時代は、市民参加による取組や企業によるまちづくりなど、官民協働によるまちづくりが絶対に不可欠と思われれます。</p> <p>また、ボランティアも協働の一つであることから、ボランティアから芦別全体の大きな方向へ進んでいくための目的や目標を共有し、導くための旗振り役の存在が望まれます。</p>
11	実施計画策定の方法	<p>総花的な総合計画（基本構想・基本計画）よりは、もっと具体的で市民生活に身近な取組をまとめる「実施計画」が重要になると思われれます。</p> <p>そのため、実施計画の策定にあたっては、総合計画本体と同様に、市民で議論し、市民の声を反映できるような進め方が望まれます。</p>
12	市民意識	<p>芦別市民は、炭鉱があった時からの名残なのか「親方日の丸」気質が強く、「何でも他（市）の人がやってくれる」という精神が抜けていない面もあるように感じられるので、市民自らが行動していくことが必要と思われれます。</p>

(2) 行財政運営について

No.	分類	意見内容
1	職員意識	<p>これからの行政は、これまで以上に市民に目を向けた施策の推進が必要と思われれますが、市民に対し「できないものはできない」というき然とした市の対応も必要と思われれます。</p>
2	組織	<p>市民の声を聴く総合的な窓口を市役所内に設置し、その窓口に対応と説明のできる職員の配置が望まれます。</p>
3	組織	<p>行政で色々な計画づくりに審議会を設けて進めていることから、これらの計画づくりを効率的・効果的に進めるため、市の組織の横の連携を取ることが必要と思われれます。</p>
4	行政評価	<p>行政評価に当たっては、評価の実効性を発揮するため、数値化することを基本とし、評価したことがきちんと実施計画に反映できる仕組を構築することが望まれます。</p>
5	表彰	<p>一生懸命頑張っている市民、特に若い世代を対象に表彰するような市民表彰制度を創設し、市民のやる気を出させるような仕組づくりが望まれます。</p>
6	行政体質	<p>依存体質の行政から脱却して、提案・実行する行政への転換が望まれます。</p>

7	総合計画	過去のことにとわられることなく、「夢」をもって総合計画（まちづくり）を進めるべきと思われます。
8	合併	これからは合併ではなく、この第5次総合計画をもとに自主・自立していくようなまちづくりが望まれます。 しかし、効率的なまちづくりを進めるうえで、将来の大幅な人口減社会を考えると、芦別市に有利な合併であれば合併することもひとつの選択肢として考える余地はあると思われます。
9	議員	財政的に豊かなまちであれば良いが、本市は大変厳しい状況であることから、人口や財政状況に見合った市議会議員の定数も検討する必要があるものと思われます。
10	市職員・議員	将来の目標人口14,000人の財政推計に基づいた市職員数や市議会議員数も検討する必要があると思われます。

2 「生活・環境」に関する意見等

(1) 都市基盤について

No.	分類	意見内容
1	道路	国道452号は、莫大なお金を投入し自然も破壊する一方、完成後どれだけ人が通るのか費用対効果に疑問を感じます。 道路の必要性や工事の進み具合など、状況に応じた説明が望まれます。
2	道路	道路については、マスコミなど人が通らない道路が必要なのかとの論議もある一方、開通後に期待される地域振興上の効果などから、地元の要望により国が進める事業もあると思われます。
3	交通体系	交通体系の充実、高齢化が著しい芦別においては、住みやすいまちの観点から、今後、ますます重要になると思われます。 そのため、環状線沿いや頼城、西芦別地区などのJRや中央バスなど他の交通機関が無い地域の交通体系の充実が望まれます。 また、市内の路線バスについて、企業サイドからすると採算性の問題がありますが、運行経路や運行時間など地域の意見を取り入れるとともに、特に高齢者への配慮が必要と思われます。
4	通信体系	光ファイバーなどは、利用戸数の伸び悩みにより普及しないといった問題があります。PHSなど富良野は利用できるが、芦別では利用できないといったことは、行政ばかりをあてにせず、多くの人たちでPRすることも、普及に向けて大切なことと思われます。 また、こうした市民の行動に連動した行政の働きかけや旗振りも必要であると思われます。

5	行政	落ち葉のもみじを販売する取組で成功している有名なまちがありますが、パソコンで情報管理する仕組づくりを行政が旗振りして進めたことが発端であり、取組によっては行政が先導する必要もあると思われます。
---	----	--

(2) 生活環境について

No.	分類	意見内容
1	移住・定住	自然災害や体感地震が少ないこと、気候がよく、雨、風、雪が少なく、水がきれいなこと、広大な森林により空気がきれいなことなど、自然環境豊かなまちであること、札幌圏や旭川圏にも近いことなど芦別の魅力・良さをもっとPRすべきと思われます。 このことが、「移住・定住」の増加につながるものと考えられます。
2	環境教育	叱る親がいない、他人事や無関心な現状を考えると、今一度、親や大人が考えを改める必要があると思われます。 幼少期からの環境教育の充実により、親の間違った行動は、子どもから親に注意を促すのも一つの方法であり、環境教育の充実が望まれます。
3	環境教育	常磐町大山の沢、豊岡、頼城など不法投棄が著しい現状にあります。 環境破壊や不法投棄など、環境に対するマナーの醸成は幼少期から必要と思われれます。
4	環境教育	星槎大学が実施した「環境学習」は大変すばらしいと感じたため、芦別の子どもたちにも、芦別の自然や環境を学ぶ授業をもっと取り入れるべきであると思われれます。 以前、啓成中学校で実施した総合学習で岨山をスライドで紹介した時、涙を流して感動している生徒がおり、「芦別にも、こんなに素晴らしい自然があるんだ」ということを伝えていく必要があります。
5	環境保全	広大な森林を要する芦別も、下川町を参考に、CO ₂ 吸収量の販売に取り組むことが望まれます。
6	環境保全	「星の降る里」と「環境」を結びつけた環境施策を打つことが望まれます。
7	新エネルギー	「竹」を使った燃料の開発など、化石燃料に変わる、自然にやさしい新たなエネルギーの考案が望まれます。
8	墓地	総合計画の中で、「墓地の造成」に関することが一切触れられていないことから、身寄りのない人のための専用墓地＝市民合葬墓（集骨堂）が必要と思われれます。

(3) 安全・安心な生活について

No.	分類	意見内容
1	安心な生活	人口減少・高齢化に対応し、安心して芦別に住んでもらえる取組が望まれます。

3 「産業・経済」に関する意見等

(1) 農林業について

No.	分類	意見内容
1	担い手問題	農業の担い手不足、嫁不足は深刻であり、その対策が望まれます。
2	農産物PR	芦別は、お米やメロン、じゃがいもなど、おいしい農産物が数多くあり、芦別農業のレベルは高いと思われませんが、PR方法や情報発信を改善する必要があると思われま
3	地産地消	農業者にとって、地産地消は切実な声であり、地産地消を実践しているかあちゃん市の食材はとてもおいしいことから、地産地消の取組を広げることが望まれます。
4	農産物ブランド化	JAの合併により、芦別ブランドという銘柄が表に出てこなくなったと感じられます。 食糧備蓄基地とも言われるほど北海道は、食に恵まれていることから、芦別ブランドを確立し、北海道ブランド、芦別ブランドとして、もっとPRすべきであると思われま
5	新規就農	十勝の農家は一定の収入を得ているイメージがありますが、やはり収入が確保されるイメージがないと、首都圏などからの新規就農希望は見込めないものと思われま
6	新規就農	新規に農業者を増やすためには、制度の充実が望まれます。
7	農業体験	市が中心となり、親子に農地を貸し出して、農産物の栽培・収穫・食事ができる、地産地消の農業体験ができる仕組が望まれます。
8	農業環境	農業については、安全・安心な食材が注目されるようになり、農業に興味を持つ人が増えてきているため、農業経営に関連する組織づくりや農業従事希望者を受け入れる環境づくりが望まれます。
9	森林資源 地材地消	本市にある多くの森林資源を活かした取組を検討するとともに、建設事業などにおいては、地元産材を積極的に活用することが望まれます。
10	林業体験	小学校では食育の関連から農業体験を行っていますが、林業分野における植樹や枝打ちなどは、子どもたちにとっては貴重な体験になることから、体験学習などの授業の中に林業体験を取り入れることが望まれます。
11	森林資源	森林も含め、本市には大変豊富な資源が眠っていることから、それらを調査し芦別でしかできない取組を行うことが望まれます。
12	林業雇用	林業については、今日の環境問題により森林整備が注目されていることから、本市の豊かな森林資源を積極的に活用した雇用の場の確保が望まれます。

(2) 商工鉱業について

No.	分類	意見内容
1	商業の手法	芦別の商業主は、お客を確保しようという精神が希薄に感じます。 商品を地方から取り寄せてでも、お客の要望に答えようとするような買い物客を地方に逃さない取組が望まれます。
2	建設業	農・林・商業に対しては、いろいろなことが示されていることから、建設業に対しても何らかの方向性を示すことが望まれます。

(3) 雇用・労働環境について

No.	分類	意見内容
1	雇用対策	若い人の雇用の場があって、芦別に住んでもらえるようにすることが、人口を流出させない最大の取組であると思われます。
2	雇用対策	14,000人の目標人口を達成する一つの手法として、生産年齢人口の雇用確保を軸として、農林業に可能性を見出すことが必要であります。
3	雇用対策	農業や商業の後継者の養成について、代々受け継いできたものを子どもに引き継ぐのではなく、親の代で終わらせる方向のように感じられます。 その原因は、子どもに苦勞をかけたくないなど、親の放棄があるとも感じますが、大変な仕事であってもやりがいと生きがい、魅力を伝えることが必要であり、そうしなければまちの衰退は加速してしまうと感じられます。 郷土愛を持ち後継に示すことにより、Uターンも増えるものと思われます。

(4) 観光について

No.	分類	意見内容
1	交流人口 情報発信	「スターライトホテル」と「合宿の里」は、芦別市を代表するものであることから、もっと体制をしっかりと構築したうえで、全国及び北海道規模で外に向けて情報発信することが望まれます。
2	観光施策	スターライトホテルの宿泊客を対象に、市内の観光名所案内ツアーを企画してはどうかと考えます。 少額ではありますが、昼食代だけでも経済効果があるものと思われます。 また、地元の人をガイドにして観光案内するのも方法のひとつであると思われます。
3	イベント活動	各種イベントなど、数多くの取組が行われていますが、個々の活動がメインとなっているように感じられます。 それぞれの活動がまとまり、広く大きくなる方向へ導かなければならないと思われ、そのためには、行政の先導が必要と思われます。
4	観光職員	市の担当職員が、市内観光施設の知識に乏しいのは残念に感じられます。

5	観光PR	観光客へのPRをもっと工夫することが望めます。
6	観光PR	あまりお金を掛けないで、「おもてなしの心というサービス精神」と「すばらしい自然環境」を売りにPRすることが望めます。

4 「保健・医療・福祉」に関する意見等

(1) 保健・医療について

No.	分類	意見内容
1	出産・子育て	<p>総合計画の中に「子どもを産み育てる・・・」と記載されていますが、芦別の病院には産婦人科、小児科がなく、母親は滝川、砂川、旭川で出産している現状から、将来の構想とは逆の状況で、「安全・安心」とは言えないと思われま。</p> <p>このままでは、芦別に住みたいと思う人がいなくなってしまうのではないかと心配されます。</p>
2	市立病院	市立病院の看護師は、親しみを込めてのことなのかわかりませんが、馴れ馴れしく不快に感じる面があり、接遇の改善が望めます。
3	市立病院	医師や看護師確保については、厳しい時代ではありますが、診療科目の充実が望めます。
4	医療・福祉の意識	医療も福祉も、相手を思いやる心が大切と思われま。

(2) 福祉について

No.	分類	意見内容
1	地域福祉体制	独居老人などの情報（名前・住所・介護の状況など）がないと、家で倒れていた時など何かがあったときに何もできないので、万が一のときにすぐ駆けつけられる体制をとれるよう、行政側から地域住民の情報を民生委員や主任児童委員にできる限り提供する必要があります。
2	子育て	お年寄りも大事だが、将来の芦別を担う子どもをもっと大切にする取組が必要と思われま。
3	障がい者福祉	<p>障がい者が施設を出て、地域で生活することについて、本当に市民が馴染めるのか疑問に思われま。</p> <p>こういったことについて、市は、警察や地域、学校などとも連携を取り、情報を共有する必要があります。</p>

5 「教育・文化」に関する意見等

(1) 生涯学習について

No.	分類	意見内容
1	家庭教育	今の子どもは、外で遊ぶ方法を知らない子が増えていることから、親が教えることが必要と思われます。
2	家庭教育	“絆”には二つの意味があり、一つは、家族愛という良い意味と、もう一つは、動物などをつないでおくように拘束するという悪い意味があります。最近、マイナスイメージの家庭が多いように見受けられるが、本来は家族愛であるべきであり、大切なことであることから、“家族の絆”について明文化が望まれます。
4	家庭教育	キャンドルアートで京都生協と一緒にキャンドルの火を灯す活動を行っていますが、やはり、親と子がともに一つの目的や共通の認識で行動することは、絆を深めるうえで重要と思われます。
5	文化財	市の登録文化財に指定されている「芦別獅子」の活躍の場をつくる必要があり、各種イベントなどとのタイアップも検討すべきであると思われます。

(2) 学校教育について

No.	分類	意見内容
1	企業体験	中学生や高校の企業体験が行われるようになり、地元企業や基幹産業の農業、商店など、地元である芦別で働く親がいるから、芦別が成り立っているということ、また、市民の役割や頑張りを子どもに見せてあげることが、芦別の将来を担う子どものためにも大切な教育の一つであると考えます。

(3) スポーツについて

No.	分類	意見内容
1	合宿PR	合宿に力を入れようとしていますが、市民アンケートではそれほど期待されていない結果となっており、PRが足りないように感じられることから、今後のPRが重要であると思われます。
2	スポーツ振興と合宿	総合体育館などは、夏場は合宿でびっしりであり、一方で市民に対してスポーツの振興を掲げているが、合宿と市民のどちらが大切なのか、矛盾が感じられます。

(4) 国際交流について

No.	分類	意見内容
1	多彩な国際交流	<p>国際交流はカナダに偏り過ぎであると感じられます。</p> <p>今は、中国・ベトナムからの労働者が技術習得のため芦別の企業に来ているので、そういった人たちに、芦別の自然・文化・歴史を学んでもらい、中国やベトナムなどのアジア諸国との交流も図っていくことが必要と思われます。</p> <p>カナダの場合は、移動に日数がかかるが、アジアであれば距離も近いし、費用も安く済み、交流がし易いと思われます。</p>
2	カナダ中学生派遣	<p>カナダ派遣者の報告会について、単なる旅行に終わらないようにするため、「市民の集い」だけではなく、学校やその他のイベントなどでも実施することが望まれます。</p> <p>基本構想・基本計画では何をやるのかわからないし、実施計画への意見反映もできないと思われます。</p>